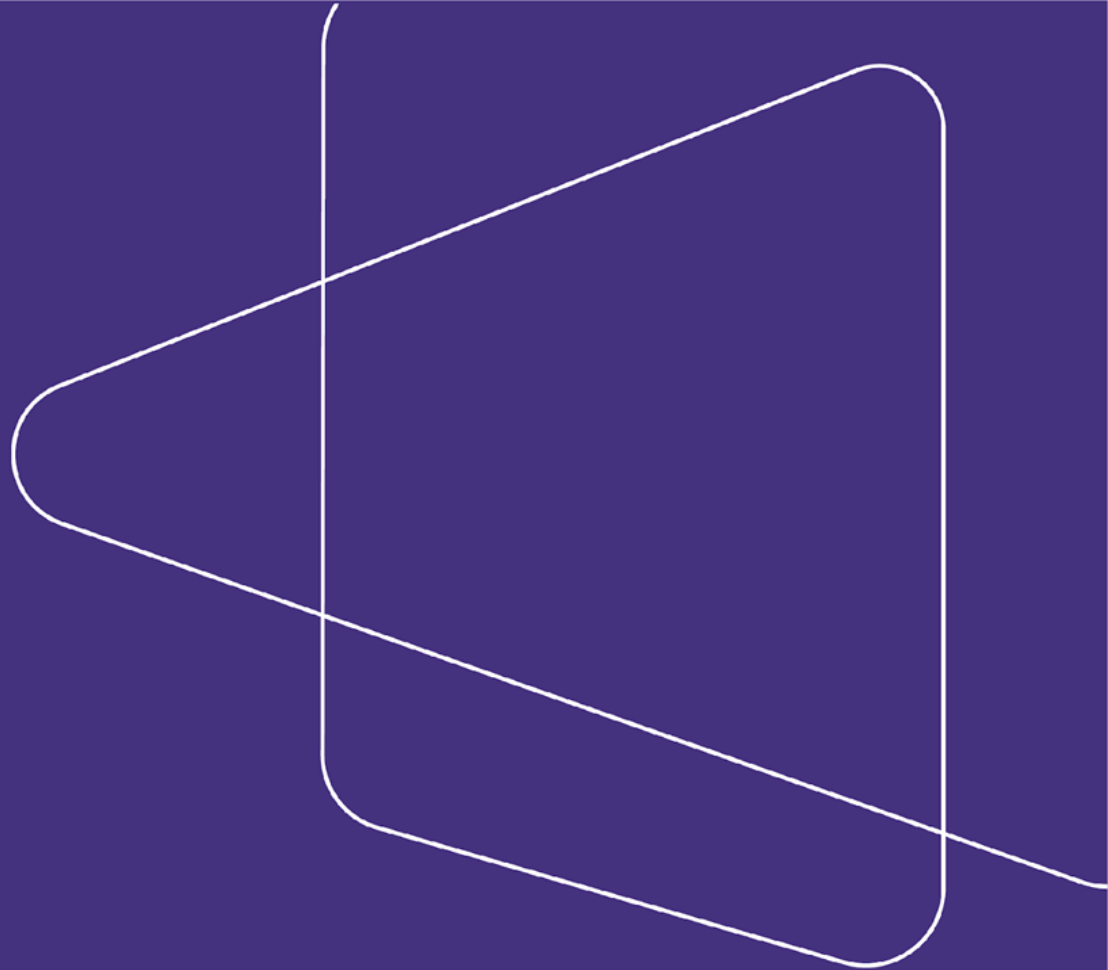


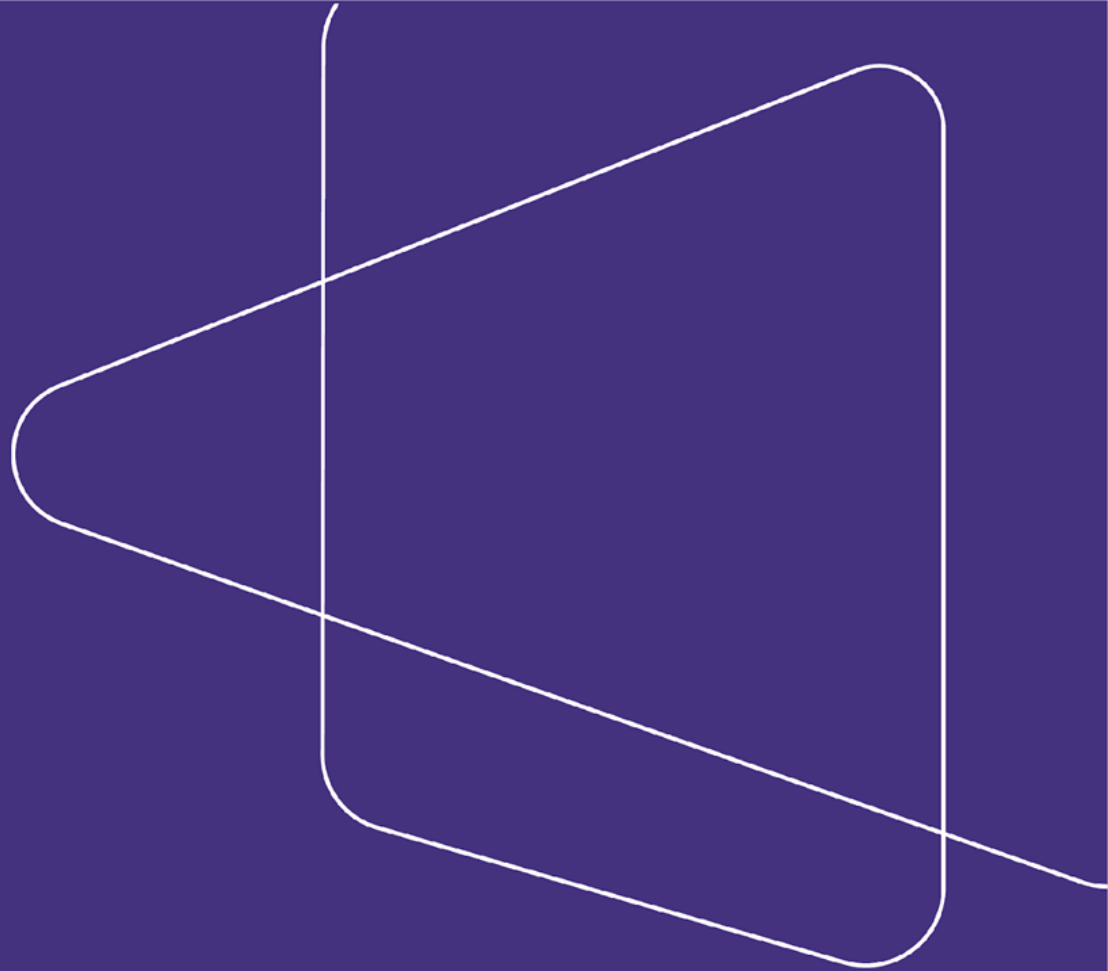


Stream
Media
Corporation



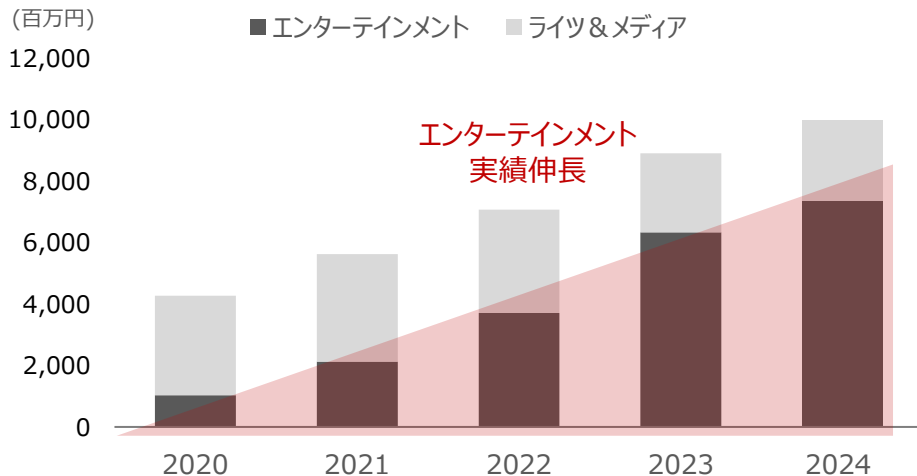
ストリームメディアコーポレーション (4772) 2024年12月期決算説明資料

1. 2024年12月期の業績 P 3
2. 2024年12月期のセグメント別業績 P 6
3. 2025年12月期業績予想 P 10
4. 来期以降における事業の方向性 P 12
5. その他報告事項 P 18
6. Appendix P 20

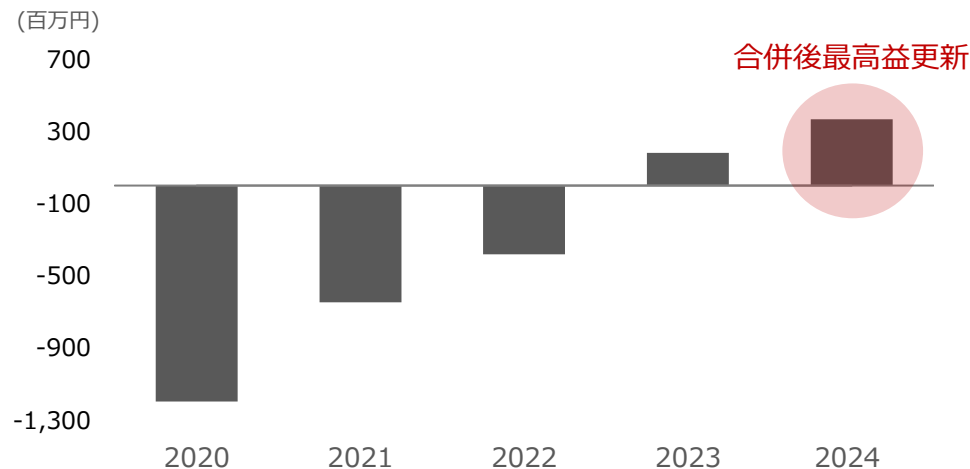


1. 2024年12月期の業績

■ 売上高



■ 営業利益



■ セグメント別業績 (累計)

区分	売上高	YoY	営業利益	YoY	前期比較
2024 業績合計	9,716百万円	+806百万円 (+9.0%)	364百万円	+183百万円 (+100.1%)	エンターテインメント事業の回復及び成長 合併後売上と営業利益ともに最高値更新
エンターテインメント	7,264百万円	+934百万円 (+14.7%)	679百万円	+138百万円 (+25.5%)	コンサート以外(MD事業など)のビジネスが好調 IPを活用したビジネスへの売上構成に移行
ライツ&メディア	2,451百万円	-128百万円 (-5.0%)	261百万円	-67百万円 (-20.5%)	著作権獲得強化 (23年14作品 → 24年21作品) KNTVの視聴者減少が継続

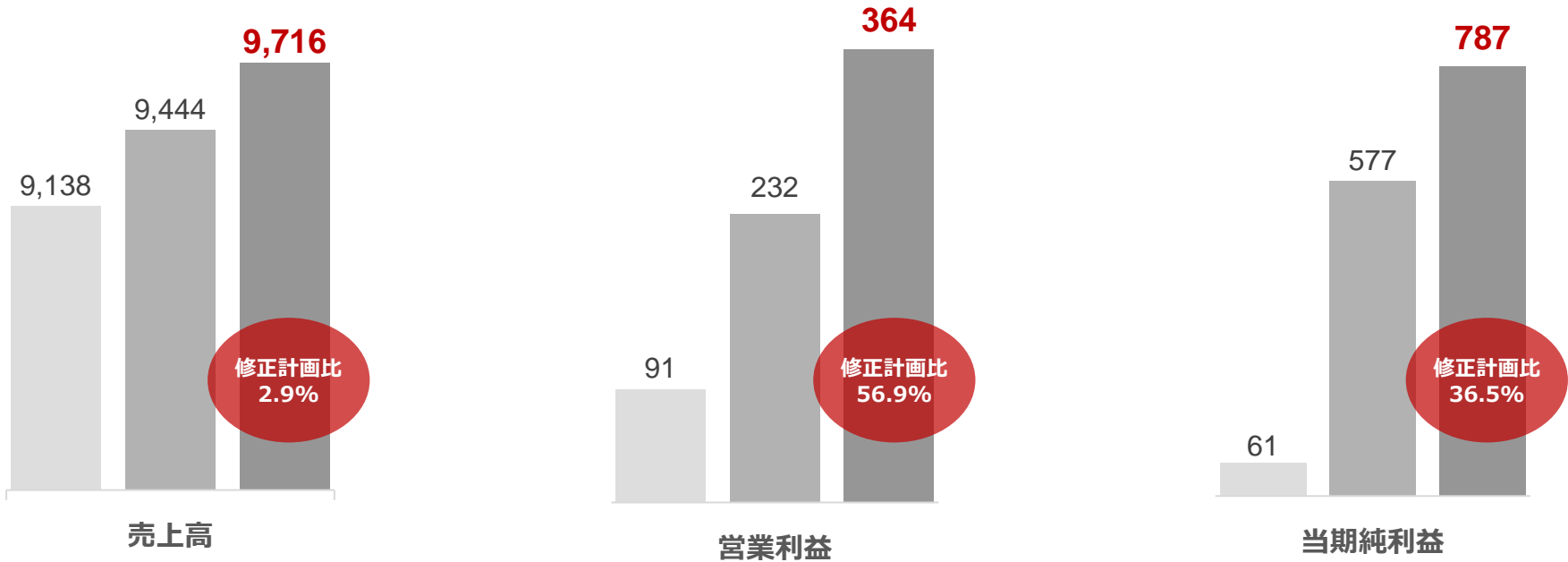
*コンサート売上の認識方法：コンサート売上=(チケット売上)-(制作費等諸費用)
*アーカイブ作品：当社が既に権利を保有している作品

11月の修正計画より営業利益が56.9%、当期純利益が36.5%上回りました

■ 2024年業績予想及び進捗推移

■ 期初計画 ■ 11月修正計画 ■ 実績

(単位：百万円)





2. 2024年12月期セグメント別業績

エンターテインメント事業の業績①

コンサートを従来通りに実施できたうえ、コンサート以外のビジネスが好調でした
 新規事業として**ファンクラブ事業の企画業務を受託**し、売上及び利益率の向上を図ります

■ コンサート事業

- 計116公演開催し、20万人以上動員の大型コンサートも多数実施



NCT127
@東京ドーム等



NCT DREAM
@東京ドーム等



aespa
@東京ドーム等



TVXQ!
@さいたまスーパーアリーナ等

■ 音楽外事業

- CMやドラマなどに出演



東方神起
「正官庄」のジャパンアンバサダー



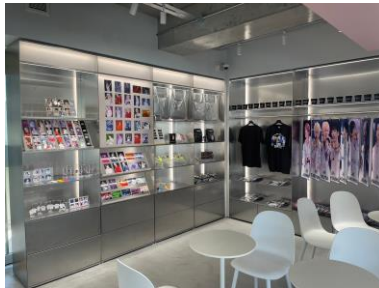
aespa
マックカフェとコラボレーション

■ MD事業

- ペンライトリニューアルなどで客単価が上昇し利益率が向上



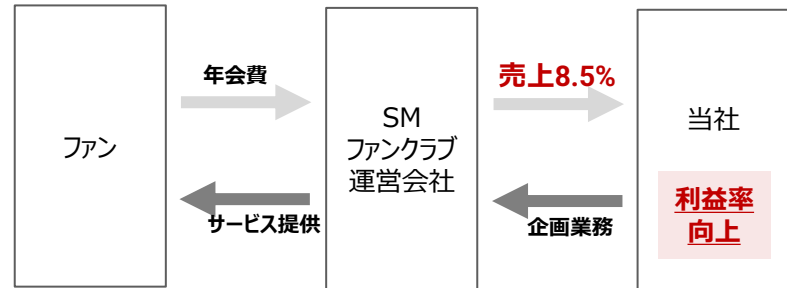
OFFICIAL FANLIGHTの
リニューアル



NCT 127 3RD TOUR 'NEO CITY: JAPAN - THE UNITY'
PHOTO GALLERY @原宿

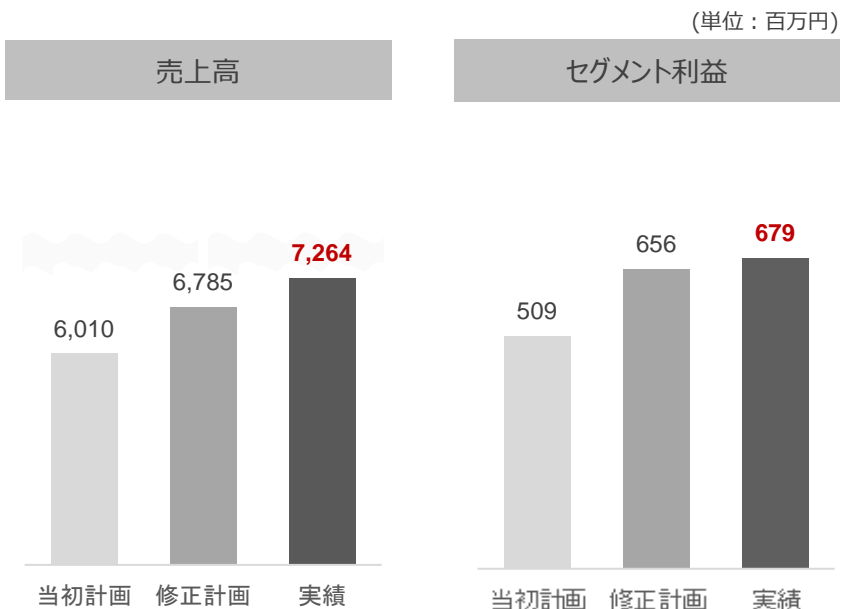
■ 新規事業

- SMアーティストのファンクラブ事業における企画業務を受託 (2024年12月契約締結)
- 既存組織をフルに活用し、原価率を下げる事が可能



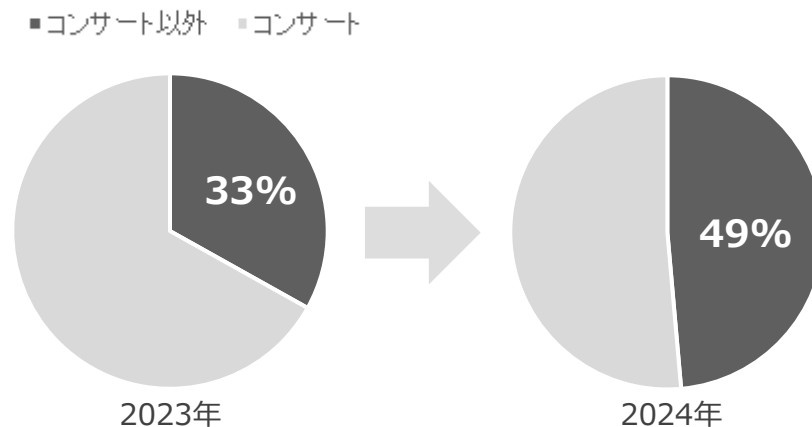
今期は従来通りにコンサートを開催し、約157万人を動員しました
アーティストのIPを活用したビジネス展開を推進し、コンサート以外のビジネス売上の割合が増加しました

■ 実績状況



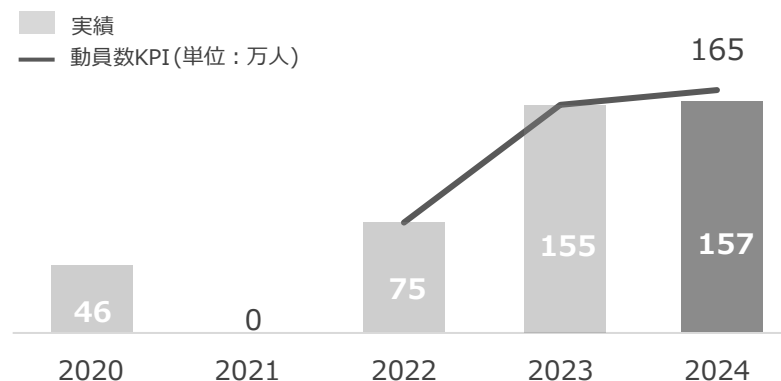
- 公演制作費や日本オリジナルIPの事業への先行投資が想定より削減できたことにより、利益が拡大した
- MD事業は、ペンライトのリニューアルとPOPUPストアの開催などで客単価を上げる施策を図った結果、業績に貢献した

■ コン서트以外のビジネス拡大



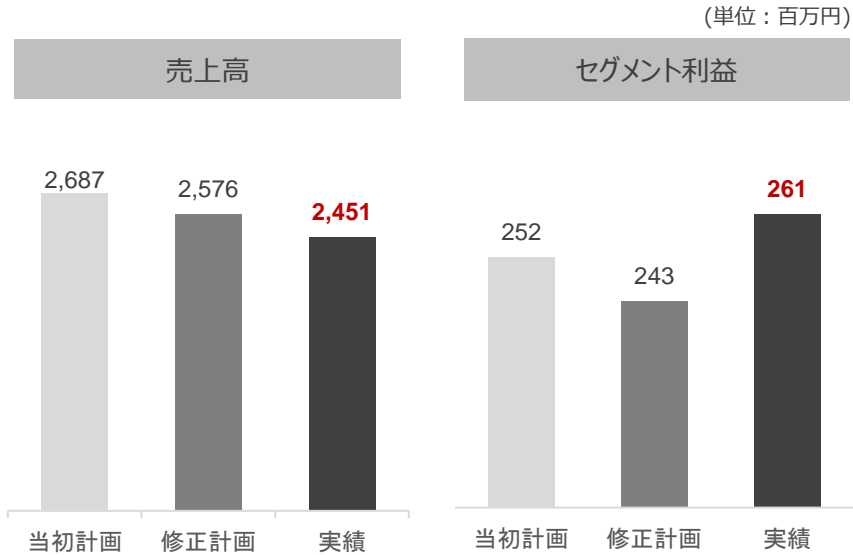
■ 動員数KPI及び実績

大型コンサートを含む計116公演を開催し、約157万人を動員



KNTVは視聴者数の微減が続いたが、**著作権販売やオフィス最適化など**を通じて利益を確保しました
 ライツ事業においては、コンテンツ獲得を強化したことに伴い、**新規著作権獲得数が増加**しました

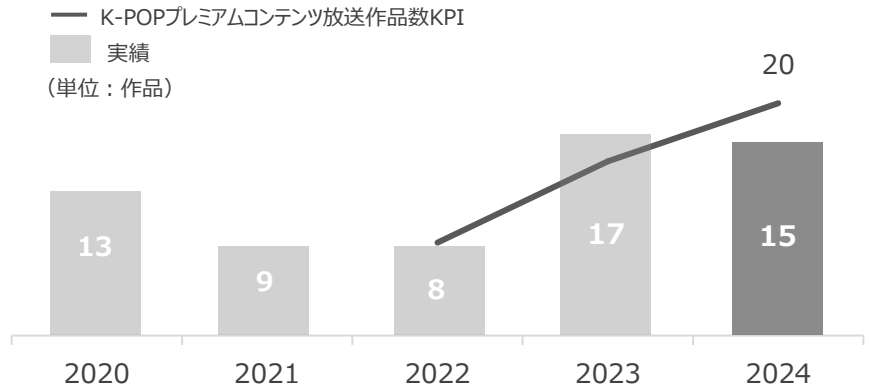
■ 実績状況



- KNTVは、オフィス最適化による販管費削減を実施したことと共に視聴者収入だけでなく、著作権販売や字幕販売などを強化したことで売上拡大
- ライツ事業においては、アーカイブ作品の販売を強化し売上と利益を確保しつつ、新規著作権獲得にも主力したことにより、来期以降の業績に期待

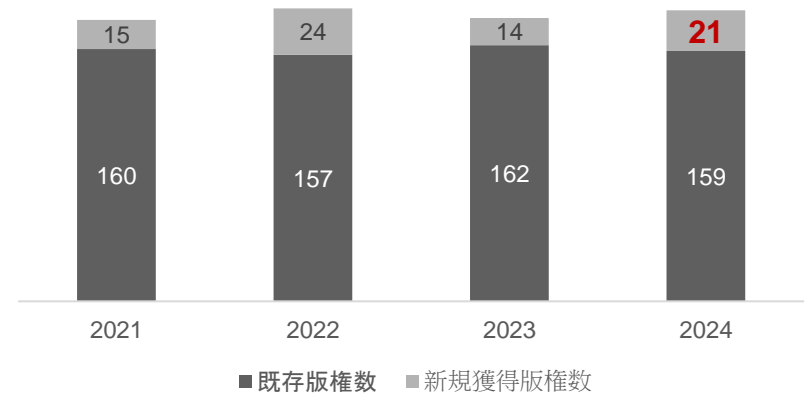
■ KNTVのKPI及び実績推移

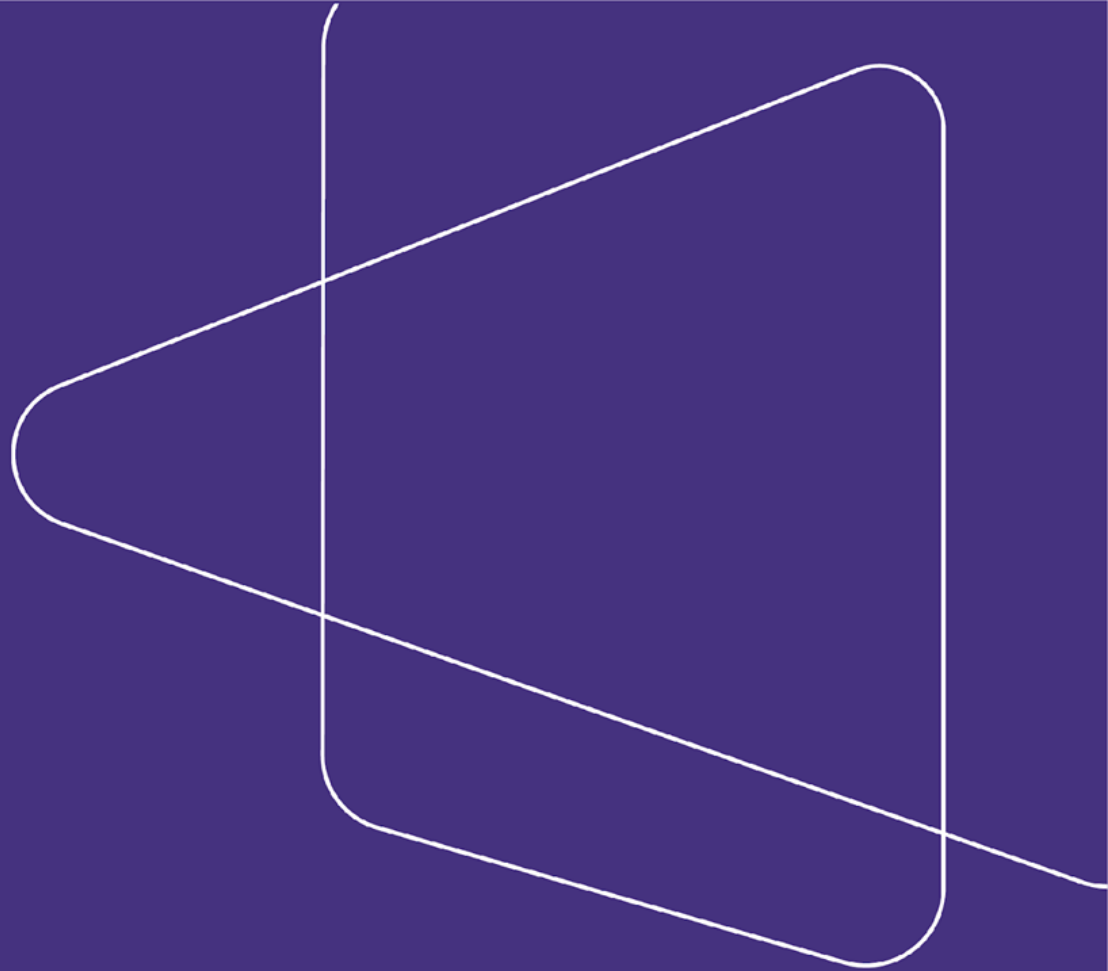
年末に発生した韓国飛行機事故に伴い、生放送の中止が続いたことにより、プレミアムコンテンツを15回放送



■ ライツ事業の著作権獲得数

厳しい市場環境の中、著作権獲得強化により**新規コンテンツ獲得数増加**



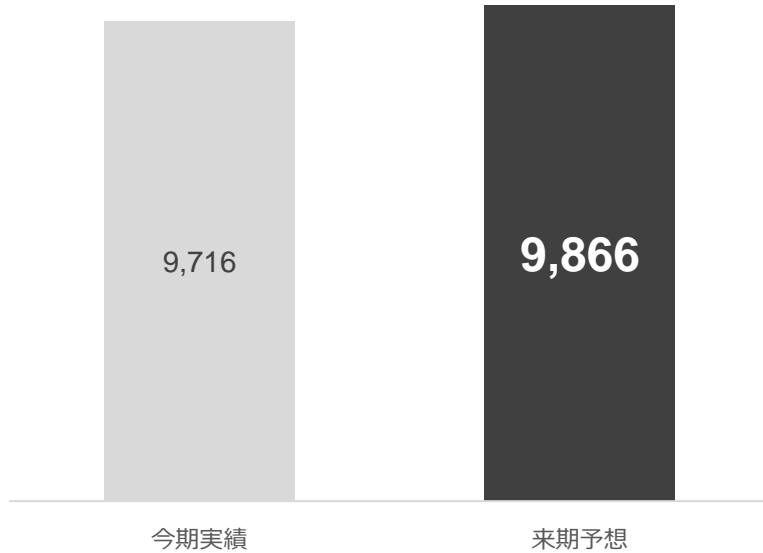


3. 2025年12月期業績予想

新規事業（ファンクラブ企画事業など）や新規IPのデビューを通して利益率の向上を目指します

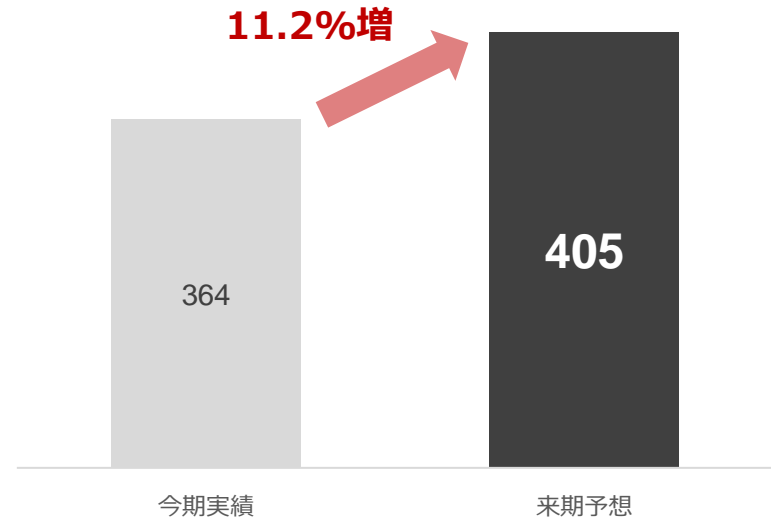
■ 売上

(単位：百万円)



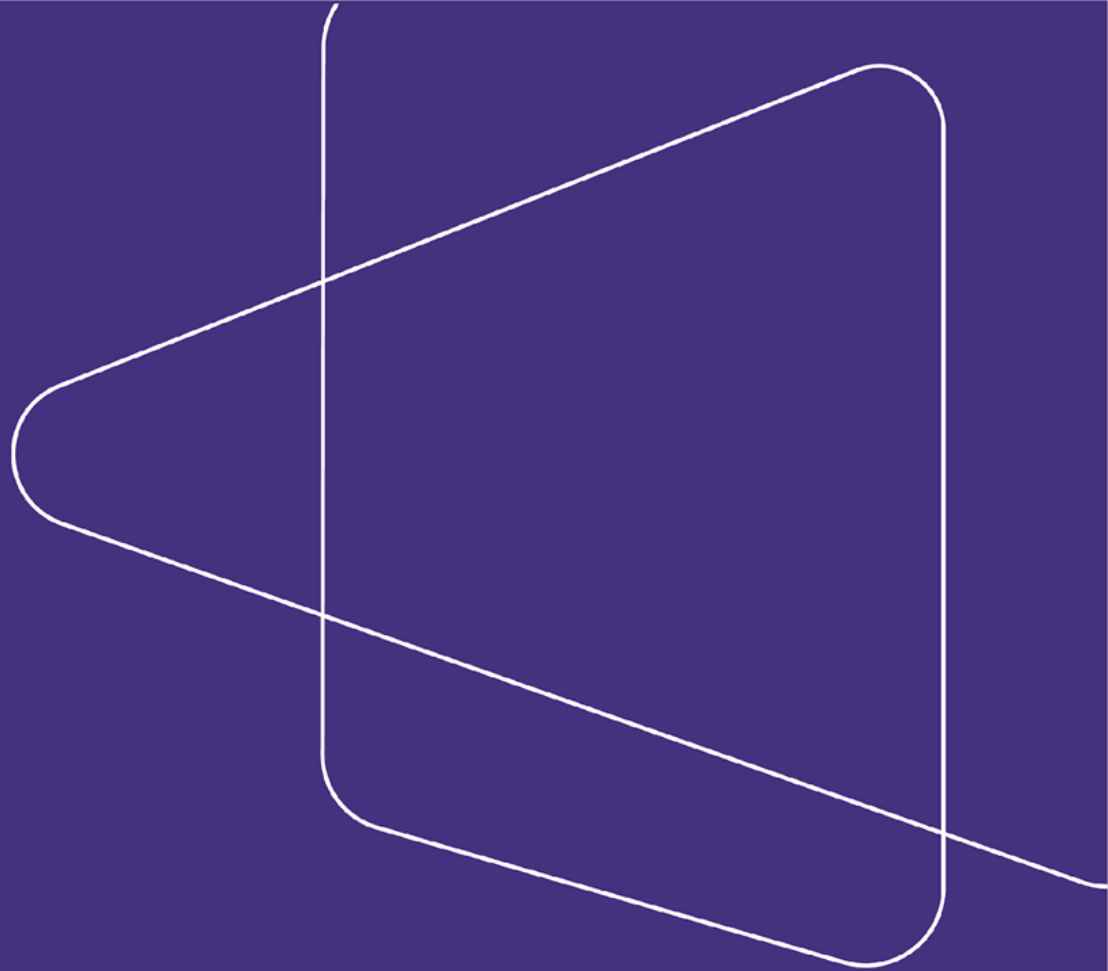
■ 営業利益

(単位：百万円)



- エンターテインメント事業は、コンサートを積極的に開催しつつ、コンサート以外のビジネスをさらに強化することで売上拡大を目指す
- ライセンス＆メディア事業は、アーカイブ作品販売やプレミアムコンテンツ放送強化に注力する方針だが、売上は減少を予想

- 前期末に新規事業として受託したファンクラブ企画業務は、ファンクラブ会員数の増加に努め、営業利益への貢献を目指す
- 2025年8月デビューを予定している当社オリジナルIPの活動により、営業利益への貢献を想定



4. 来期以降における事業の方向性

既存事業で実績を確保しつつ、新規事業を拡大することで利益率の向上を目指します

エンターテインメント

既存事業の推進

- ・コンサートの継続開催による安定的な売上高の確保
- ・コンサート以外のビジネス強化

新規事業拡大

- ・ファンクラブ事業の企画業務受託による売上及び営業利益拡大を目指す
- ・2026年以降さらなる成長を目指す (Music business・旅行事業)

独自IP活動

- ・来期から順次当社オリジナルIPをデビューさせる

メディア&

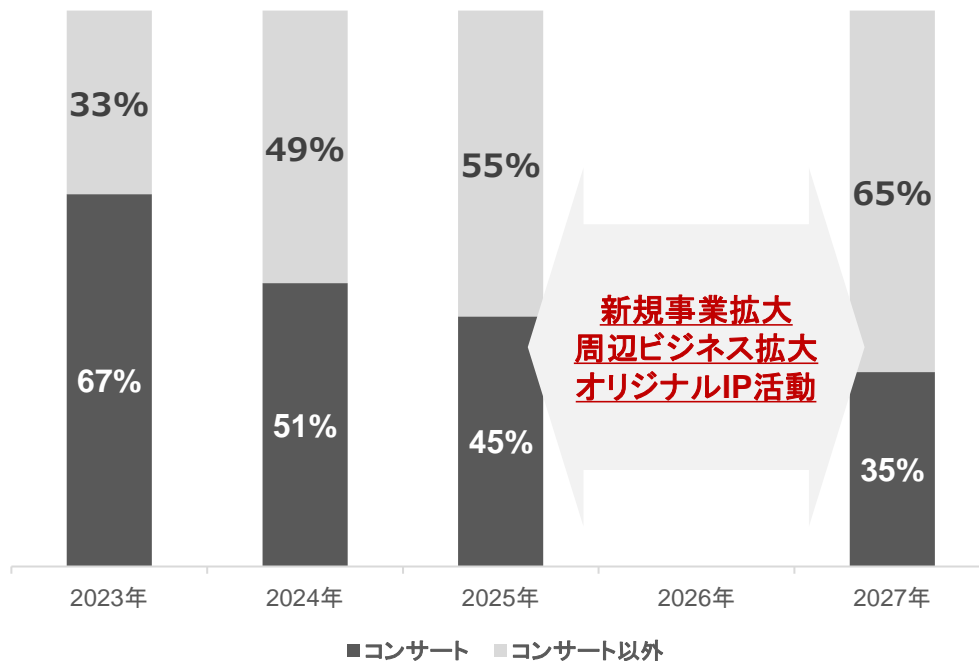
コンテンツ獲得強化

- ・新作の獲得をより強化する

コンサート以外のビジネスを拡大し、中長期的に急速な売上及び利益拡大を目指します

■ 新事業戦略

- ・内容 : **コンサート以外が占める売上の割合を65%以上にする**
※エンターテインメント事業全体の売上に占める割合



■ コン서트以外のビジネスとは

エンターテインメント事業は次の各事業で構成されている

- ・コンサート事業
- ・MD事業
- ・音楽事業 (CD、DVD等)
- ・出演料 (他社イベント、CMなどの広告等)
- ・当社オリジナルIP
- ・新規事業 (Music business、旅行)
- ・ファンクラブ企画事業

コンサート以外の
ビジネス

■ コン서트以外のビジネスを強化する理由

コンサート事業には次の制限がある

- ・アーティストのスケジュール
- ・公演会場の制限
- ・高騰している制作費

更なる売上向上のために注意すべき点

- ・SMアーティストに依存する事業のリスク
- ・アーティストIPを活用することによる更なる売上の獲得
- ・既存のロイヤリティが発生するビジネスと連動した新規ビジネスの創出
(新規ビジネスはロイヤリティが発生しないものを優先的に検討)

エンターテインメント | 主要スケジュール

東方神起の20周年記念ツアーをはじめ、NCT 127の京セラドーム公演など大型公演を多数開催予定のほか、下半期の当社オリジナルIPデビューや各アーティスト広告出演など、コンサート以外のビジネスも積極的に展開予定です



TVXQ! (東方神起)
@東京ドーム等
('24. 11~4月計22公演)



RIIZE
@びあアリーナMMなど
(1月計3公演)



NCT127
@京セラドームなど
(3月計6公演)



SMTOWN LIVE 2025
東京 (8月2公演)

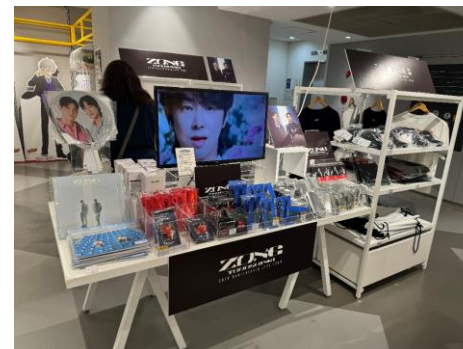
2024年11月



NCT DREAM
NCT DREAM CAFE 7DINER オープン (1月)



aespa
「SHIBUYA109 × aespa
Winter Sale」(1月)



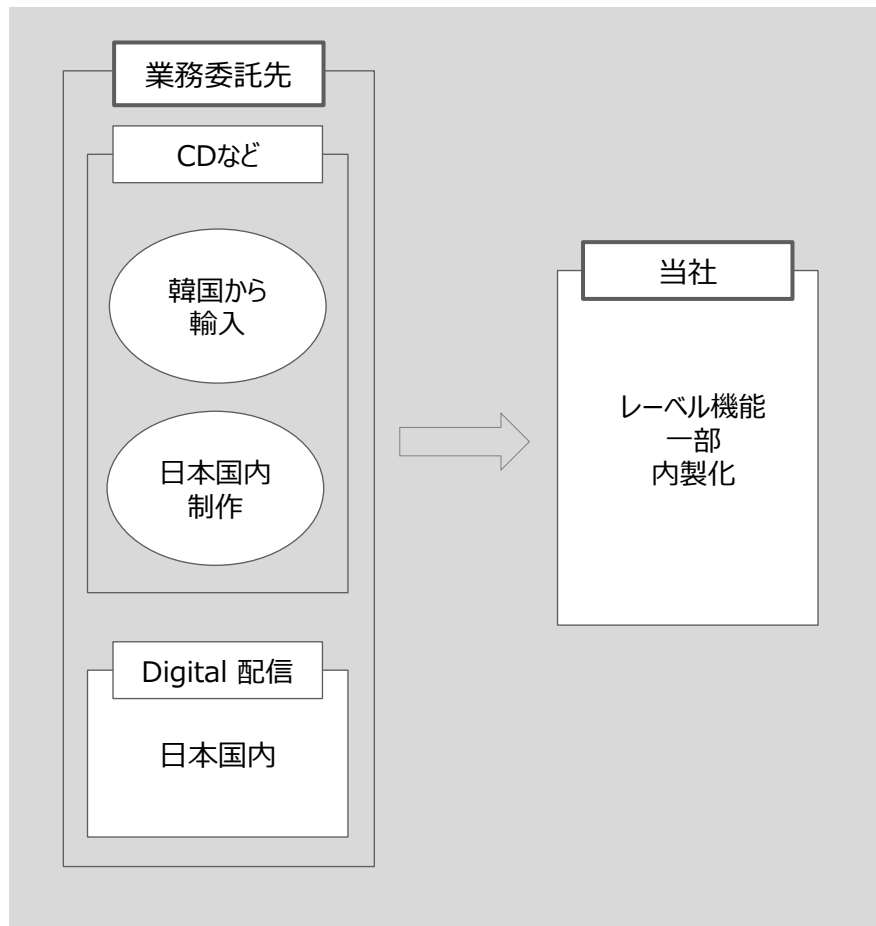
TVXQ! (東方神起)
サテライトショップ (2月)



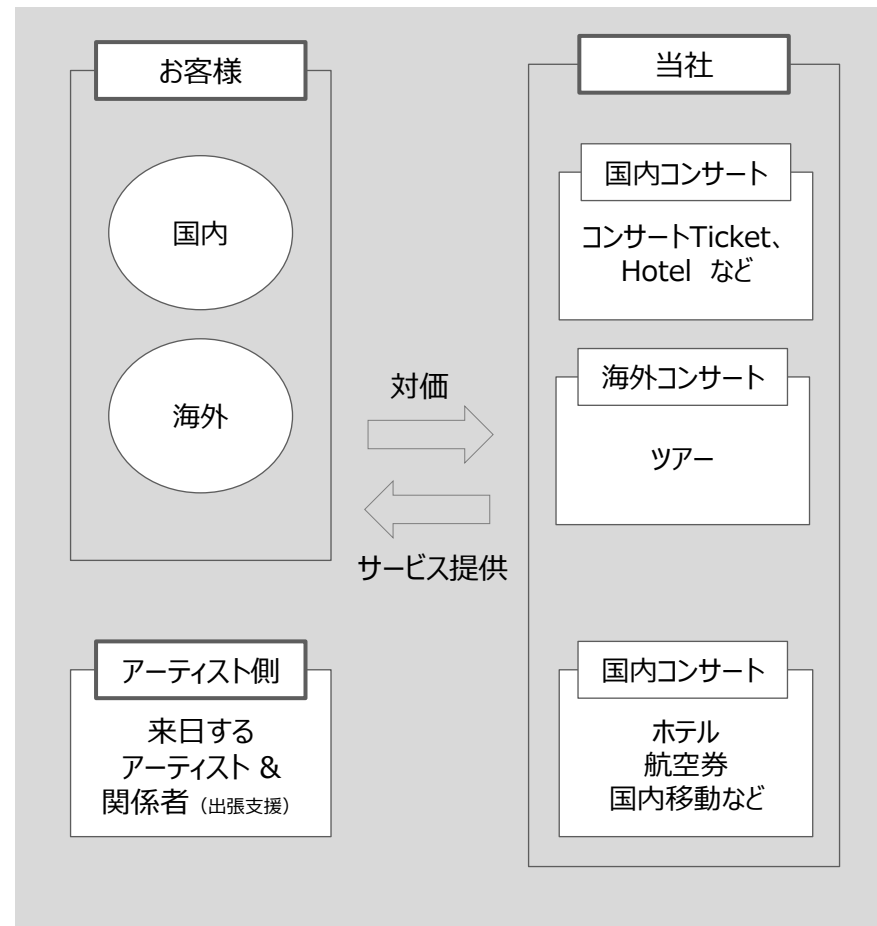
当社オリジナルIP デビュー予定 (下半期)

当社の独自レーベル事業を開始するとともに、コンサート及びイベントと関連した旅行事業を立ち上げることで、更なる発展を目指します

■ Music business事業



■ 旅行事業

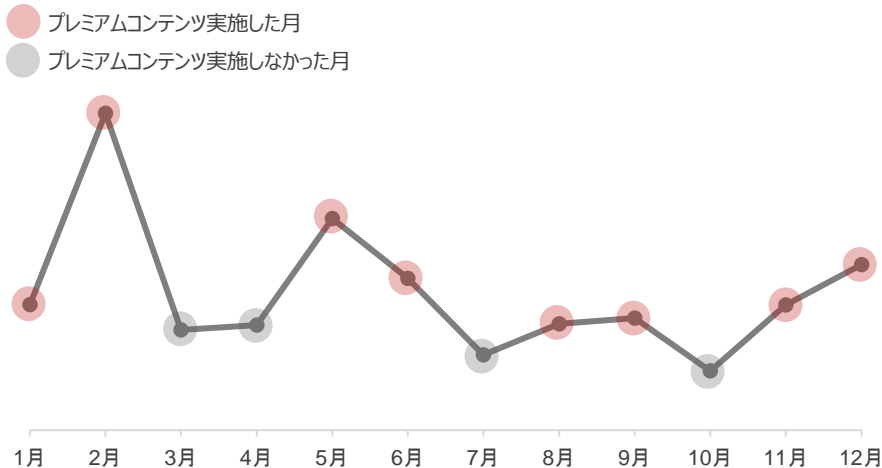


KNTVでは、SMグループ主催のコンサートなどプレミアムコンテンツの編成をさらに強化し、今期に続き新規加入促進と解約防止に注力します

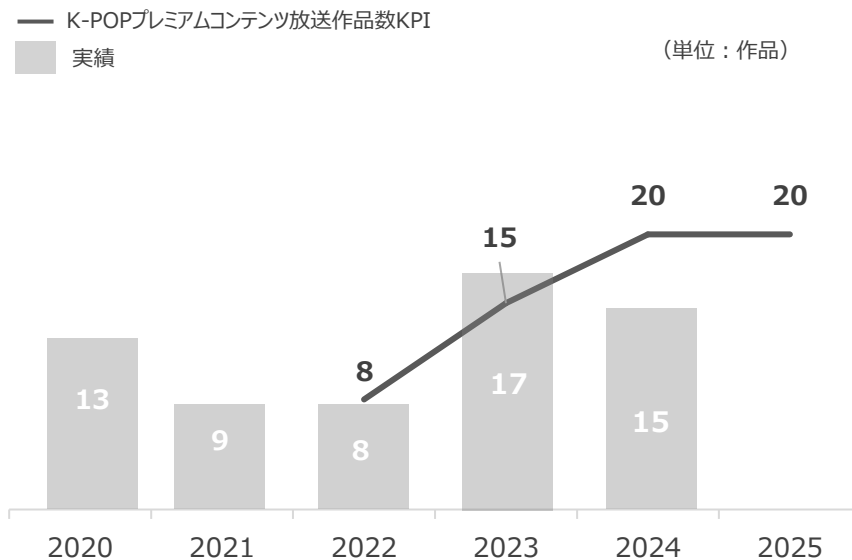
■ プレミアムコンテンツの編成強化による事業シナジー強化

- 今期には計15作品のプレミアムコンテンツを放送
- 特に12月には、韓国で発生した飛行機事故により、娯楽の自粛で予定されていた生中継が中止となったことにより新規加入者獲得に影響

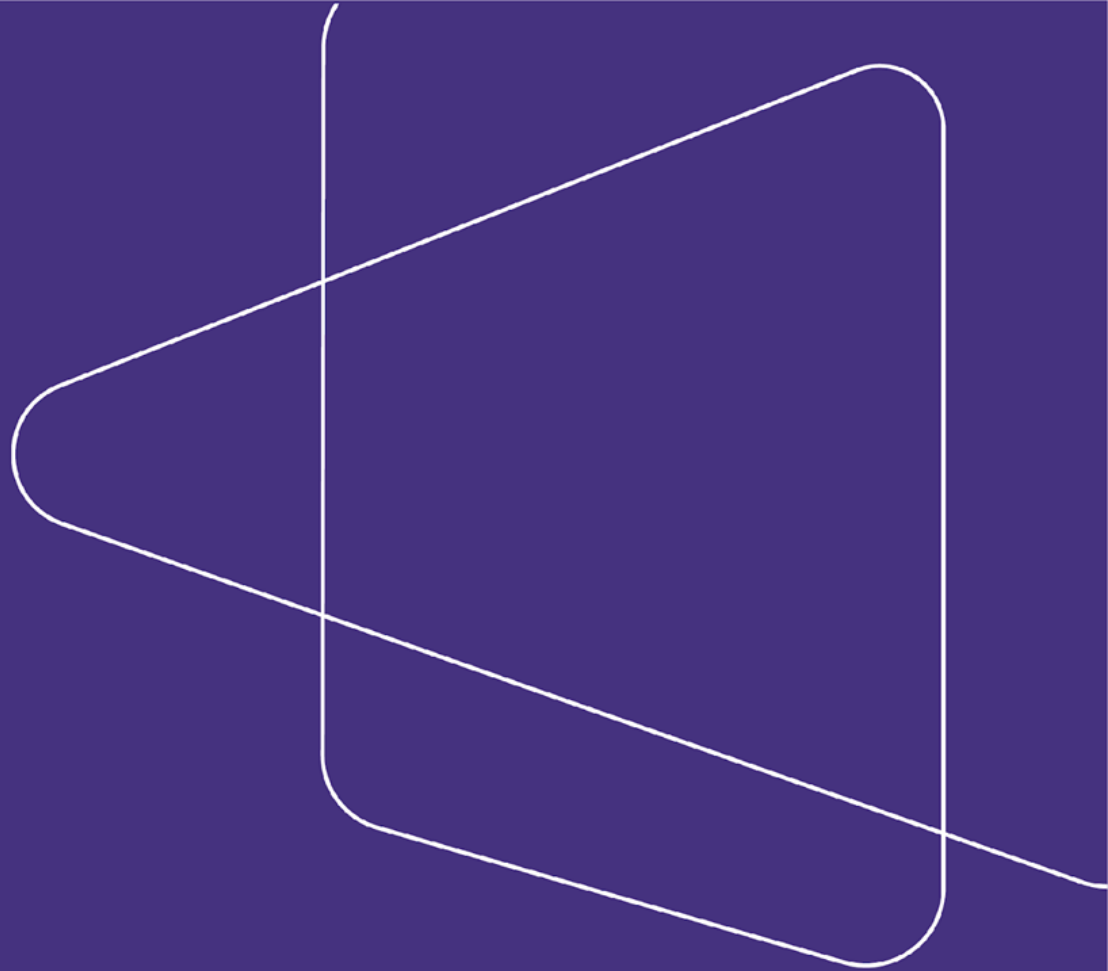
• 2024年のKNTV月別新規加入者推移



■ KNTVのプレミアムコンテンツ放送(KPI)



- プレミアムコンテンツの編成を増やし新規加入者獲得及び解約防止に努める
- 来期1Q放送予定のプレミアムコンテンツ
 - SMTOWN LIVE 2025 in SEOUL 生中継 (1/12)
 - NCT 127 4TH TOUR 'NEO CITY : SEOUL - THE MOMENTUM' 生中継 (1/19)
 - 「2025 WayV CONCERT [ON THE Way] FINAL IN SEOUL」生中継 (2/23)



その他報告事項

■ 株主優待制度再開

当社株式への投資に対する魅力を高め中長期に渡り保有いただくこと、また株主様の増加を図ることが企業価値の向上に繋がると判断し、2024年12月期より株主優待制度を再開しました。

- ・ 対象：1,000株以上保有の株主様
- ・ 株主優待内容：QUOカード1,000円分

■ 減資及び配当予想修正（初配）

当社は、今後の成長への投資と健全な経営基盤を維持するための資金を確保しつつも利益還元を行うことが可能と判断いたしましたので、**配当を開始**することとしました。

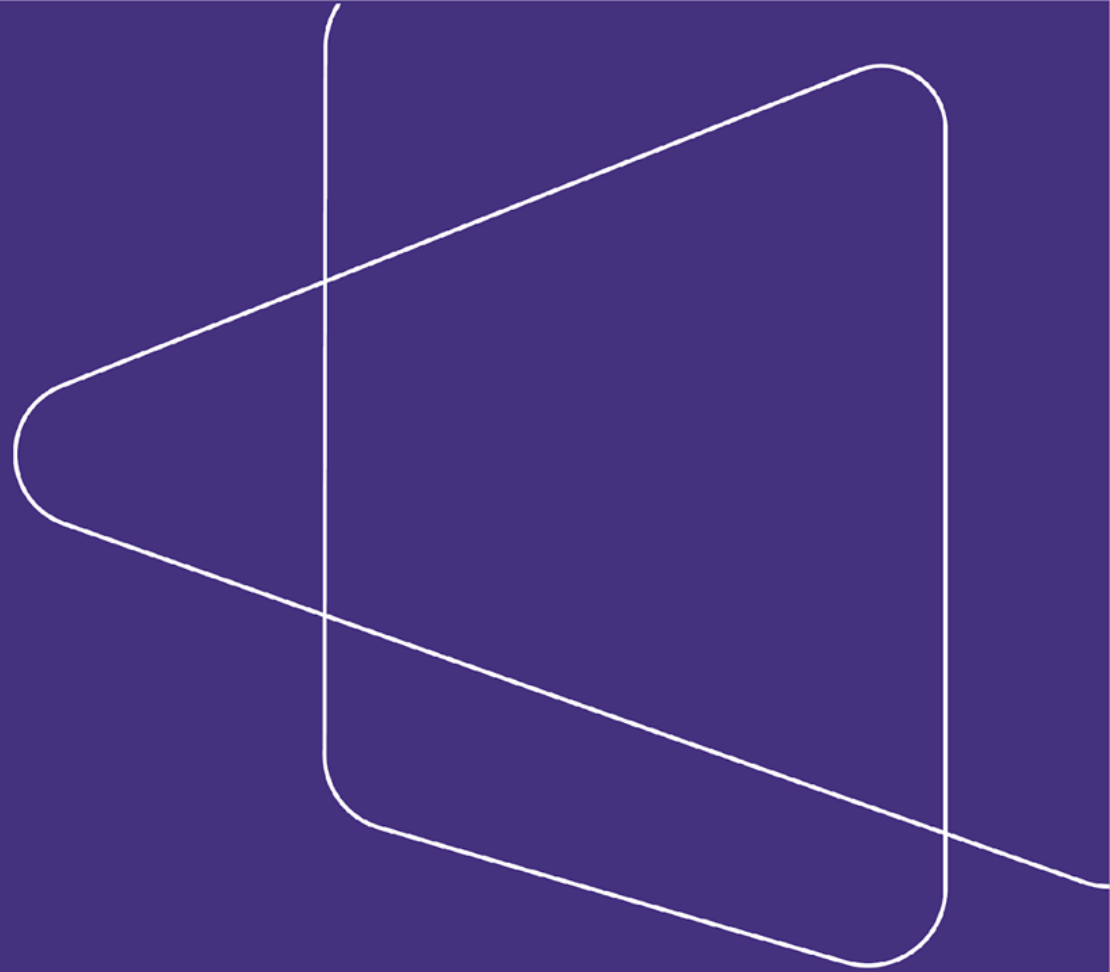
※1株当たり配当金：1円

■ 親会社の持分比率変動

当社将来の流通株式比率向上のため、親会社保有の当社普通株式の内、計10,400,000株（発行済株式数の8.97%）が売却された結果、親会社の持分比率が「**75.03%から66%**」となりました。



Stream
Media
Corporation



6. Appendix

■ 売上高（年度別累計）

（単位：百万円）

セグメント	2022				2023				2024				前年比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
エンターテインメント	277	1,279	2,972	3,712	2,001	3,405	5,507	6,330	2,419	3,971	5,668	7,264	+934
ライツ&メディア	892	1,810	2,528	3,360	746	1,458	1,992	2,579	637	1,221	1,852	2,451	-128
全社	1,174	3,094	5,506	7,078	2,747	4,864	7,499	8,910	3,056	5,193	7,521	9,716	+806

■ 営業利益（年度別累計）

（単位：百万円）

セグメント	2022				2023				2024				前年比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
エンターテインメント	-55	-12	138	73	235	363	596	541	305	468	599	679	+138
ライツ&メディア	66	146	177	148	115	271	293	328	90	164	227	261	-67
全社費用	-126	-262	-405	-561	-153	-339	-493	-656	-160	-310	-460	-573	+83
全社	-124	-147	-118	-381	188	276	366	181	232	318	363	364	+183

※各セグメントの合算と「全社」の差分はその他となっております

【本資料についての注記事項】

本資料に記載されている意見や予測などは、資料作成時点での当社の見解であり、リスクや不確実性を含んでいるため、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではありません。

**ご覧いただき、ありがとうございました。
今後とも変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。**